

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	<p>9月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。</p> <p>① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び(正規比率の上昇を含め)や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ(設備投資計画の動向も含む) ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向(一時的要因を除いた実勢と期待物価) ⑤ マーケット(株価、為替、金利等)の動向</p>	<p>日銀の追加金融緩和により、市場は大きく好転したが、实体经济の回復にはまだ時間がかかると感じる。一方で、消費税率引上げは中長期的な視点から不可避な措置であり、その中で安定的な経済成長につなげていくためには、金融政策だけではなく、思い切った構造改革や規制緩和が併せて必要。またその間、特に低所得者や母子家庭などに直接的な経済対策としての支援バウチャー制度や、地方や中小企業が担っている事業分野への資金融資など配慮が必要。また消費増税の際の軽減税率の導入など。</p>
地方創生・地域活性化		
2	<p>地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身(自社)の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。</p>	<p>若者が地方暮らしを選ぶためには、働く場の確保、子育ての安心、高齢者を支えるための過度な負担からの解放が必要条件。特に若い女性の働く場と居場所・役割を確保するために、①地方における介護、(障がい者等)福祉、子育てのための安定した雇用の場の確保②第六次産業発展に向けた輸出の画期的拡大のための総合的仕組みの樹立。また、子育て中の親の支援として、高齢者を中心とする地域住民の子育て参加の仕組みの確立(子ども・子育て新システムにおける地域の子育て参加の仕組みの拡大と重点化)。さらに、高齢者が高齢者の生活支援を社会貢献として行う生活文化の確立(政労官民協働による呼びかけと仕組みの開発・普及)など。</p>
その他		
3	<p>10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。</p>	<p>急激な為替の変動は、円高・円安どちらに振れても、市場へのインパクトがある一方で、そのマイナスに対応可能な体力を有する企業以外は疲弊が膨らみかねない。一方、日本企業は海外拠点を拡張してきており、通貨変動がそのまま即輸出・輸入の増加に反映されにくくなっている現状がある。今後の景気回復に向けては為替変動に対する副次的な支援策が併せて必要と考える。</p>